

三保松原・老齢大木の樹勢回復状況

— 全体的に緩やかな回復傾向 —



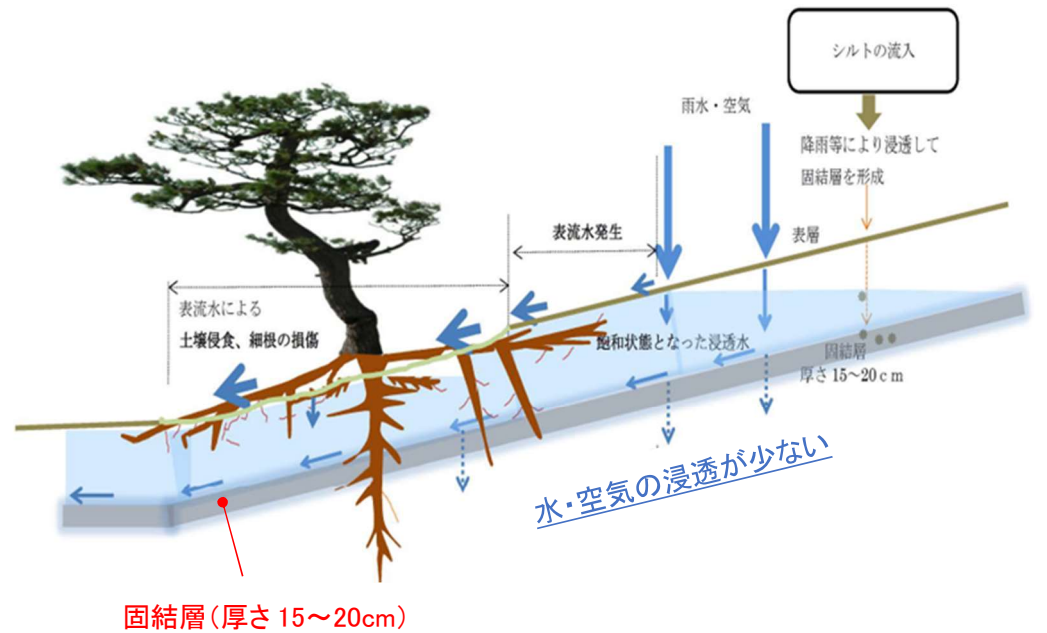
技術情報 VOL.4-2

(調査・検証) 一般財団法人三保松原保全研究所 R4. 10

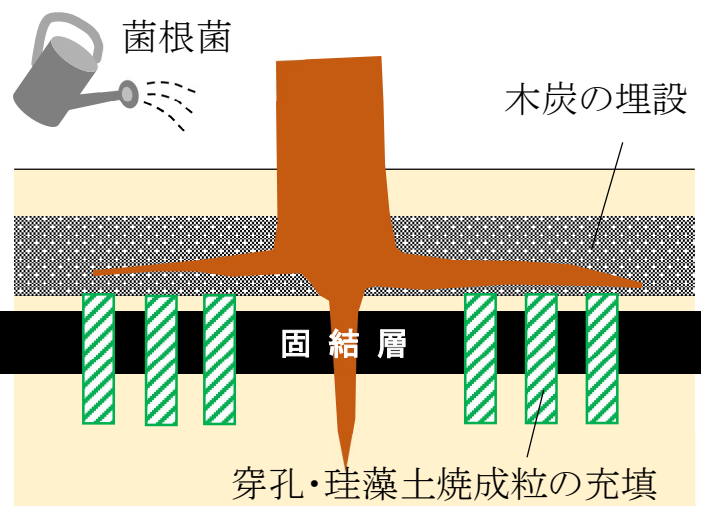
●背景・目的

平成 26 年度に「羽衣の松」の樹勢の衰えが確認され、その原因として、来訪者の踏圧により形成された土壌の“固結層”が根や菌根の生育を阻害していることが明らかになりました。

このため平成 28 年度から、「羽衣の松」と周辺の老齢大木を対象に、木炭と菌根菌による土壌改良が進められています。



●基本的な施工方法



対象となる老齢大木から放射状に固結層を除去・穿孔した上で、土壌改良材(木炭・珪藻土焼成粒)を埋設し、マツと共生しその生育を助ける「菌根菌」の散布を行います。

← 施工状況(木炭埋設時点)

●結果

平成 28~29 年度施工のマツ 16 本について、樹勢モニタリングを行っています。

令和 3 年度には 6 本の改善が見られました。土壌改良前と比べ約 7 割のマツで樹勢回復が確認され、評価が落ちたマツは無く、全体的に緩やかな回復傾向にあります。

樹勢回復状況一覧(改良前▶R3)

※赤印は令和 3 年度に改善したマツ

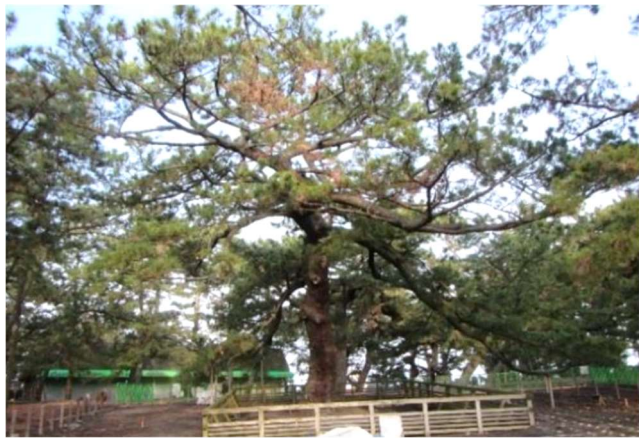
判定	H28年度改良分											H29年度改良分					
	羽衣の松	老齢大木										老齢大木					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	
◎ 良		◎	◎														
○ やや不良	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
□ 不良	□	□	□	□	□	□	□	□					□	□			
△ 著しく不良								△									
× 枯死寸前																	



回復しつつある羽衣の松(R3. 10月)

樹勢凡例 ▲ 著しく不良 ■ 不良 ● やや不良 ● 良

羽衣の松の樹勢推移



平成 28 年 10 月 (土壌改良前)

※葉量少なく枯枝あり



平成 29 年 10 月 (改良 1 年後)

※葉量回復し、枯枝なし



令和 4 年 10 月 (現在)

※新枝の伸長旺盛